

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ととも		
○保護者評価実施期間	令和7年2月19日	～	令和7年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年2月19日	～	令和7年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が固定化しないよう、計画的にプログラムの立案・実施をしています。個別活動は、担当の職員が一人一人の様子に応じた教材を準備し、小集団活動では様々な経験を積むことができるよう、1週間毎に内容を変更しながら取り組んでいます。	個別活動では、こどもの課題に焦点を当てた教材を個別に作成しています。 小集団活動では、同じ内容の活動であっても、こどもの様子に応じて適切に取り組めるよう目標を変更しながら計画しています。	個別活動で使用する教材のバリエーションを増やすために、研修を取り入れます。 小集団活動では、まだ実施したことがない活動内容を積極的に取り入れることができるよう、書籍を追加したり研修を実施したりしていきます。
2	HUG成長療育システムを導入し、日々の支援記録を確実にとっています。文章のみではなく、活動の様子を写真に取り記録の中に入れることで、より具体的に様子を伝えることができ、保護者様からは「安心できる」との声をいただいています。	個別活動と小集団活動の写真を少なくとも1枚ずつは掲載することで、その日取り組んだ活動の様子が伝わりやすいよう工夫しています。また、文章の書き方は基本的に固定化しており、保護者様が読みやすくなるよう工夫しています。	現在の支援記録は、保護者様に確認していただくため、連絡帳としての側面も兼ねています。本来は支援記録であるため、様子がしっかり記録されるよう文章の書き方については変更を加えていきます。
3	定期的に活動の様子を公開しています。特に、Instagramやホームページを活用しており、保護者様や地域の方から好評をいただいています。	活動の様子が伝わりやすいよう、写真の掲載方法や文章の書き方等に適宜変更を加えています。	Instagramは更新の頻度が少ないため、より頻回に更新できるよう業務内容を整理します。ホームページについては、より見やすくなるようページの構成を再検討します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の構造上、活動スペースに制限があったり、バリアフリー化が難しかったりする状況です。現在は、こどもの様子に応じてパーテーションを活用したり、個別支援室で活動したりする等の工夫を行っているところです。	古民家をリフォームして開設した施設であり、階段、段差、広さ等の構造上の問題は解決することが困難です。	現在、活動スペースや導線等を考慮して設計した新築施設を建設中であり、6月に完成する予定です。完成後は、そちらに移転します。6月までの期間は、安全に最大限配慮しながら、現在の施設で活動を継続します。
2	各避難訓練の実施状況や対応マニュアルについて、保護者様や地域向けに発信が十分にできていない状況があります。	契約時や面談時に保護者様に避難訓練や避難方法についてご説明をしていますが、詳細な対応マニュアルについてのご説明が十分ではないため、伝わっていないのではないかと考えます。	定期面談の際に、実際に安全管理マニュアルをお見せし、保護者様にご説明をしていきます。また、毎月行っている避難訓練の状況についても、InstagramやHUG成長療育システムを通して適宜公開していきます。
3	就学前に利用されていた保育所等や療育機関との連携が少ない状況があります。引き継ぎに関しては、相談支援事業所や保護者様からの情報に重きを置いています。	就学前の保育所等や療育機関とのつながりが少ないため、情報交換をする習慣が定着していないことが考えられます。	今後は、必要に応じて就学前に利用されていた機関と情報交換を行い、現在の支援に活かしていきます。